

報道関係者 各位

2009年8月20日 日本科学未来館

中秋の名月 未来館でお月見！2009

世界天文年2009 公認イベント 2009年10月3日(土)、4日(日)開催

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛、所在地:東京都江東区青海)は、2009年10月3日(土)、4日(日)の2日間、中秋の名月に合わせ、「中秋の名月 未来館でお月見！2009」を世界天文年2009 公認イベントとして開催します。

未来館では今年も例年に引き続き、10月3日の中秋の名月に合わせ、月にまつわるさまざまなイベントを開催します。今年には2007年9月に打ち上げられた月周回衛星「かぐや」の観測運用終了の年であるとともに、アポロ11号の月面着陸40周年にあたります。シンボル展示の Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)を月に変身させ、昼間でも楽しめる未来館オリジナルの「お月見」や、地球からはみることのできない月の裏側を紹介します。また、これまでの月探査により明らかになった月の素顔を紹介する特別展示や、将来の有人飛行と月面利用について、月の研究者と一緒に考えるトークイベントなども開催します。7月にリニューアルした7階のレストラン「LA TERRE」でも、月に関連した特別メニューをご用意します。この機会に是非、日本科学未来館のお月見をご取材いただきたく、ご案内申し上げます。

CONTENTS

- 1.シンボル展示 Geo-Cosmos が月に変身
- 2.特別展示「今なぜ月をめざすのか」
- 3.サイエンスミニトーク「Geo-Cosmos 実演 お月見バージョン」
- 4.特別上映「4D2U～spacewalk～ お月見バージョン」
- 5.トークイベント「Back to the Moon ～月に住もう」

■ 概要 ■

- 開催期間 2009年10月3日(土)、4日(日)
- 場 所 日本科学未来館 常設展示ゾーンほか (住所:東京都江東区青海2-41)
- 開館時間 午前10時～午後5時(入館は閉館時間30分前まで)
- 休館日 毎週火曜日(ただし、祝日、春・夏・冬休期間は開館)、年末年始(12/28～1/1)
- 入館料 大人 600円、18歳以下 200円 / 団体(8名以上) 大人 480円、18歳以下 160円
※上記料金は2009年4月1日以降の料金
※障害者手帳所持者は当人および付き添い者1名まで無料 ※特別展は別料金場合があります
- 主 催 日本科学未来館
- 協 力 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、有限会社エム・ティ・プランニング、NECエンジニアリング株式会社

本件に関するプレスリリース、及び関連画像は未来館ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp/j/press/index.html>

一般からのお問い合わせ先	このリリースに関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL: http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 広報室 広報グループ (press@miraikan.jst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海2-41 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

1. シンボル展示 Geo-Cosmos が月に変身

直径約6.5m、約100万個のLEDが貼り込まれた世界初の球体ディスプレイ「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」が、月に変身。昼間のお月見をお楽しみいただけます。

■時 間 13:00/16:00 (各回 約5分間)

2. 特別展示「今なぜ月をめざすのか」

今年のアポロ11号が月面着陸してから40年。今、また月を目指そうという機運が高まっています。人類の新しい活動場所としての月、物質・エネルギー資源としての月、宇宙の歴史をひも解く出発点としての月、そして人類と地球の姿を見つめなおす鏡としての月。月を目指した人々の足跡から、今年6月にミッションを終了し、月の表面に制御落下した日本の月周回衛星「かぐや」が取得した最新の研究成果まで、月探査で明らかになったさまざまな月の素顔を、館内の常設展示に関連して紹介します。

インタラクティブ展示「MOON SCOPE」

「かぐや」搭載の高精細レーザ高度計による観測データを元に制作した凸凹の月球儀を、実際に触って「月」を体験していただけます。

■開催場所 5階 常設展示「地球環境とフロンティア」内

「ライドカム」お月見バージョン

小さなロボットに乗り込んで、月面を歩きまわるバーチャル・リアリティ体験ができます。

■開催場所 3階 常設展示「情報科学技術と社会」内

3. サイエンスミニトーク「Geo-Cosmos 実演 お月見バージョン」

シンボル展示Geo-Cosmosに映し出された月を背景に、現在の月周回衛星「かぐや」の成果や、未来の月利用の可能性まで、わかりやすく解説します。

■時 間 12:00～12:15/15:00～15:15

■開催場所 3階 常設展示「技術革新と未来」エリア

4. 特別上映「4D2U～spacewalk～ お月見バージョン」

最先端の観測やシミュレーションに基づき製作された、国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト(4D2U)による3D映像を、月にクローズアップしたバージョンで上映し、科学コミュニケーターが生解説を行います。

■時 間 11:30/15:00 (各回 約25分) ※5階インフォメーションにて当日予約券配布

■開催場所 5階 VRシアター

5. トークイベント「Back to the Moon ～月に住もう」

民間による有人宇宙飛行や、月への居住など、人類が月を利用する未来像について、専門家の話を聞きながら一緒に考えるトークイベントです。

■開催日 2009年10月4日(日)

■時 間 15:00～16:30

■講 師 佐藤 直樹(宇宙航空研究開発機構 有人宇宙環境利用ミッション本部 主幹開発員/月・惑星探査プログラムグループ兼務)

寺 蘭 淳也(会津大学 先端情報科学研究センター 助教/月探査情報ステーション代表)

■場 所 7階 イノベーションホール

■人 数 100名 ※未来館HPより申し込み。9月1日より受付予定。